神楽ヶ峰　雁ヶ峰、中尾根

日程：2009年2月1日(日)
メンバー：L白土、志満、神戸、鈴木(記)

タイム：和田小屋 9:55～かぐら第五ロマンス終点小屋 10:57～中尾根分岐 12:30～和田小屋 13:10

1/25000 地形図：苗場山

本来は1月30日の夜から出かける予定でいたが土曜日が悪天候の予報の為1日ずらし31日の夜の出発となった。城山ダムで志満さんを拾い神楽に向かう。無事神楽みつまたの駐車場に着く。道の駅ないし何処か公園等でテントを張るかと思っていたが大胆にも駐車場の片隅に張る。早速夕食に取り掛かる、メニューはスキ焼、鍋まで持参してあり一人 200ｇの肉とねぎ、春菊、椎茸、葛きり、白菜、白滝、竹輪麩、うどん、お餅を入れる本格的なもの、それに各自持参の卵を付ける。いつもながら皆の手際の良さには驚き、少々のビールや酒を飲み楽しく歓談し満腹となり就寝となる。

前泊の夕食はすき焼き

朝は5時半に起床であったが天気悪く雪が降っており遅らす、雪は止まず結局7時30分頃起床。身支度を整え和田小屋に向かう。ところがかぐら第一高速、かぐら第三ロマンスのリフトが強風の為動いていない、動いているのはかぐら第1ロマンスのみ、やむなくゲレンデで滑り様子を見る。

しかし雪も強風も止まず（要するにちょっとした吹雪）リフトも動かず。白土リーダーの「シールで登る」の言葉に誰も異存は無く9時55分登り出す。目的地は雁ヶ峰でなく中尾根。この雪と強風の中、山頂に向かうのは他にもう1パーテーのみ（後で判ったが早稲田大学のワンゲル部で総勢十数名はいると思われる）。それでも視界は30～50m はありホワイトアウトでは無い。強風を見越して装備をしたので寒くは無く登りでは少々暑かった。かぐら第五ロマンスの終点の小屋下で早大ワンゲルに追いつく。一息入れ出発するが私の GPS が動かない。フリーズしている。何処かに雪でも入ったらしく固まったまま電源も切れず画面の変更も

出来ない。こうなると後は感しかない。幸いトップは白土さんなので付いていくが自分が何処にいるかが判らないのは不安（聞いた処そのような場合は使い捨てカイロを張れば作動するとの事)。稜線近くで早大ワンゲルがこの雪と強風の為か停滞している。稜線に出て斜面で各自ピットを掘る。私だけ弱層有。ほんの 4～5m離れただけで弱層が有ったり無かったりこれだから雪崩事故は無くならないのだろう。

稜線から中尾根に入る。パウダーである。リーダーに続き神戸さん、志満さん、私と続き滑る、視界が悪い為あまり間隔は空けず姿を見失わないようにする。途中膝まで来るパウダーがあり皆は楽しそうであったが私はこの悪天候で段差が見えず足裏感覚を頼りに転ばないように降りるのに精一杯で楽しめなかった。

無事和田小屋に着く。下がり過ぎもせず登り返しも無くベストなコース取りであった。

この悪天候に中尾根を回るのは中々出来る事では無い。白土さんのリードと志満さん、神戸さんの滑走技術と経験と体力のお陰です、感謝いたします。

下山後の夕食は月夜野のレストラン銀の月に入る。センスのある内装で雰囲気のある照明に音楽で山友会にはレベルが高いと思われるが今日のメンバーには最適？コースの美味しい肉を食べる、値段も妥当。

以上

中尾根上部、風雪強い

中尾根下部、パウダーである